

ヨルダン支援会合 佐藤副大臣ステートメント

- まず、今回の会合の開催に尽力したホスト国英国政府のリーダーシップに感謝申し上げます。また、今般、ヨルダン政府がIMFとの間で財政・経済改革の取組に合意し、世界銀行とともに改革・成長5か年マトリクスを推進していることに敬意を表します。
- ヨルダンは、中東地域の安定のため重要な役割を果たしてきており、その安定の鍵となる国です。2011年のシリア危機以来、ヨルダンは大変多くのシリア難民を寛容に受け入れてきました。困難の中で経済的・社会的な課題に真剣に取り組んできたヨルダンを日本は支持し、これまでも開発政策借款を中心とした有償資金協力や、医療、廃棄物処理及び水分野等における無償資金協力などを実施してまいりました。
- また、持続的なヨルダンの成長のためには、投資も重要です。日本はヨルダンにおいて、電力分野における太陽光発電所等の建設・運営に関する海外投融資に携わっています。また、観光業は、ヨルダンの雇用創出や外貨収入の観点から極めて重要な産業であり、日本はペトラ遺跡をはじめとする観光資源の発展を支援しています。加えて、昨年11月には、ヨルダンとの間で投資協定に署名しました。投資活動の活性化につながることで、古くからの我が国の友であり、戦略的パートナーであるヨルダンの経済的自立の支えになることを期待します。
- 日本は、引き続き、国際社会とともにヨルダンを支えていきます。昨年11月にアブドゥラー2世国王陛下が訪日した際に、3年で3億ドルの開発政策借款に署名いたしました。このうち第1トランシェ分の1億ドルについては、ヨルダン政府の改革努力に具体的な進展があったことを踏まえて、また、ヨルダンの債務持続性を確保するために必要な国際社会の支援が得られることを確認した上で、IMF理事会の開催を待たずに、速やかにディスバース

します。さらに、第二期分 1 億ドルについても、今後、両国間で合意した改革目標が達成され次第、デリスバースする予定です。

- 続いて、今般、日本は新たに、約 4.3 億ドルの追加的なヨルダン支援を表明します。
- 第一に、先程述べたヨルダンの改革努力を後押しする開発政策借款の進捗を見つつ、ヨルダンのニーズや資金ギャップの状況を踏まえて、追加で最大 3 億ドルの譲許的借款を供与します。
- また、無償資金協力では、今般もヨルダンの防災能力強化のための支援を決定したところですが、今後 5 年間で約 1 億ドルの無償資金協力をヨルダンに供与します。
- さらに、人道・テロ対策・社会安定化への取り組みを支援するため、今般、国際機関経由で新たに約 1600 万ドルの支援を決定しました。加えて、世銀の国際譲許的融資制度(GCFF)に、新たに 1000 万ドルを無償で追加拠出することを決定いたしました。
- 以上、日本からヨルダンに対し、今後 5 年間で総額で最大約 7.3 億ドルの支援を行うこととなります。
- 最後に、多くの出席者を得た本会合が成功することを祈念し、私のスピーチとします。ありがとうございました。